

香川大学ハニカムプロジェクト

(事業名 : Honey come! はじまりの養蜂修行)

代表者 大倉万凜 (農学部応用生物科学科2年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、①養蜂を通じて自然環境や生物について学び、得た知識を普及することで、私たち市民の環境問題に対する意識や行動を変化させる機会を創出する②イベントを通じて地域住民や学生と交流し、地域の活性化を目指すことを目的とした事業でした。概要は以下の通りです。

- ・はちみつや蜜ろうなど、人間に恩恵をもたらす、送粉者として植物と深く関わりのある養蜂を体験したことで、多様な生物が形成する生態系や、生態系と人間の生活との関係を実践的に学んだ。
- ・養蜂業は一次産業、二次産業、三次産業が一体した六次産業であるため、環境と経済活動の繋がりをミツバチの視点から考えた。
- ・イベント参加を通じて、本事業の構成員だけでなく、香川大学生や地域住民の方にも人間と自然環境の関係や生物同士の関係を実際に体験して学んでもらえるようにした。具体的には、イベントではちみつ販売やスイーツ提供を行うことで、はちみつや養蜂の知識を普及し、環境問題や生物について興味をもってもらった。

2. 実施期間 (実施日)

令和5年6月20日 ~ 令和6年3月31日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業では、プロジェクトメンバーが養蜂場を毎月2、3回訪問したことで、1年間継続して養蜂を実践的に学習できました。そして、その知識や経験を地域イベントやSNSを通し外部に発信し、学外の人を楽しみながら伝えることができました。

また、このプロジェクト事業により、メンバー主体の養蜂に向けて準備することができました。例えば、訪問する季節・天候によって大きく変化する蜂の様子とそれに合わ

せた管理の仕方、ハチの触り方などの基本的な養蜂技術、採蜜や農作物の受粉などに向けたハチの仕立て方など、様々な作業内容とその注意点などを学ぶことができました。養蜂に必要な装備や使用する道具について理解し、養蜂がどのような場所で行われ、どのような方法で行われているかも学びました。

以上の成果により、地域活性化やメンバーの農学分野におけるキャリア形成につながったと評価しております。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、地域の人にはちみつや養蜂、ひいてはミツバチをとりまく環境問題に興味をもってもらうきっかけを提供できました。また、はちみつを普段食べないご家庭にはちみつを提案し、興味をもってもらうことで、養蜂業界の活性化につながられました。さらに、イベント参加やメディア出演により、協力先である「株式会社中田養蜂」や香川大学の宣伝ができた・・・等、大きな影響を与えました。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

プロジェクトメンバーは、毎月2、3回当番制で養蜂場訪問をしたり、イベントに参加したりしたため、責任感、スケジュール調整能力・計画性が身につきました。また、大学や養蜂場、イベント主催団体など多くの方々に活動への協力を依頼したり、イベントでお客さんと交流したりする過程で、コミュニケーション能力が身につきました。さらに、仕入れたはちみつや、購入した備品を大学の一室に保管していたため、管理意識も培われたと考えています。

また、1年間養蜂業界の内部で活動させていただいたことで、農業に対する理解が深まり、キャリア形成という面でも大変有意義でした。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

反省点は、夢プロを利用しての活動が1年目ということもあり、プロジェクト内にノウハウの蓄積がなく、組織づくり（役割分担、情報共有）やイベント準備が大変だったことです。また、メンバーを勧誘する際、プレゼントのイメージ上昆虫が苦手な人に敬遠されてしまい、ほとんど農学部生しか集まりませんでした。次年度以降はより多様な学部からメンバーを募り、多様な活動ができるようにしたいです。

今後は、プロジェクト主体の養蜂やミツバチの行動調査、ハチミツの成分分析、「はちみつ販売」以外の形でのイベント参加（ワークショップ、出前授業など）、大学生協や香川県畜産協会とのコラボを計画しています。

7. 実施メンバー

代表者	大倉 万凜 (農学部2年)		
構成員	岩本 知優 (農学部2年)		
	内海 孝優 (農学部2年)	吉本 花音 (農学部1年) ※	
	山下 陸 (農学部2年)	佐藤 琢磨 (農学部1年)	
	齋藤 昴喜 (農学部2年)	遠藤 麻加 (農学部1年)	
	畑 碧莉 (農学部2年)	曾我部 真衣 (農学部1年)	
	久松 翔 (農学部2年)	福本 優希 (農学部1年) ※	
	丸山 哲平 (農学部2年)	新良貴 遥斗 (農学部1年)	

※途中脱退

8. 執行経費内訳書

配分予算額		185,870円		
執行経費 (品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
旅費 (バス代)	往復約25回	片道330円~440円	19,160円	
物品 (長靴)	4	2,299円	9,196円	
物品 (面布)	4	1,265円	5,060円	
物品 (つなぎ服)	8	9,000円	72,000円	
物品 (ステンレス製燻煙器)	1	8,580円	8,580円	
物品 (ステンレス製ツール)	4	3,300円	13,200円	
物品 (麦わら帽子)	4	659円	2,636円	
物品 (腕カバー)	4	274円	1,096円	
物品 (ゴム袋)	8	384円	3,072円	
合計			134,000円	
残額			51,870円	